

会議結果報告書

令和5年1月19日

会議の名称	令和4年度第1回志木市立図書館協議会
開催日時	令和5年1月19日(木) 15時30分～16時55分
開催場所	柳瀬川図書館 2階 視聴覚室
出席委員	原藤光委員(会長)、竹前榮二委員(職務代理)、内田征男委員、 小林美里委員、宮下博委員、石川敬史委員 (計 6人)
欠席委員	阿部剛委員、亀井沢真喜子委員、船平舞委員、矢部英子委員 (計 4人)
説明員職氏名	(柳瀬川図書館) 桜谷館長 (いろは遊学図書館) 樺嶋館長 (宗岡公民館) 佐野館長 (宗岡第二公民館) 吉田館長 (計 4人)
議題	(1) 令和3年度志木市立図書館事業報告について (2) 令和4年度志木市立図書館事業概要について (3) 学校図書館と市立図書館の連携について (4) その他
結果	(傍聴者 0人)
事務局職員	早川主査

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 開 会

2 あいさつ 原藤会長

3 議事

(1)令和3年度志木市立図書館事業報告について

(2)令和4年度志木市立図書館事業概要について

※(1)・(2)ともに配布資料をもとに各館より説明

会長) 昨年度の事業報告、今年度の事業概要の説明の中で、何か意見はあるか。

委員) 各館の事業概要部分に記載されている「登録者数」は、人口より多くなっているが、
どうしてか。

説明員) 累計登録者数となっており、除籍した利用者数は反映されていない。また、広域
利用の協定を結んでいる近隣市の住民も登録が可能となっている。

委員) 2年に1回行っている更新の手続きを反映させることはできないのか。

説明員) 個人単位で登録後2年経過したら、利用時にメッセージを表示させ確認を促すと
いった方式になっているので、反映は難しい。

委員) 登録時に児童だった利用者も数年経過したら青少年になると思うが、登録者数には
反映されているのか。

説明員) 登録時の年齢を保持したままなのか、現状と合わせているのかが、未確認のため
確認して後日委員の皆様にお知らせする。

委員) 図書館運営に活用する指標としては、新規登録者数の方が好ましいのではないか。

委員) 現代には、高齢者の利用割合の把握も必要ではないか。

会長) 登録者数を図書館運営にどう生かしていくのかについて、事務局の宿題としてくだ
さい。

委員) もう少し詳細な事業報告を資料としてほしい。年次報告の集積が過去の図書館の評
価となる。市民のための図書館として、報告や予算などを公開していくことが大切
である。志木市は埼玉県内の他市町村と比較して、住民一人あたりの図書購入費、
蔵書冊数、貸出冊数などが高い。これは住民が図書館活動を支えてきた歴史による
ものとする。

会長) 住民が図書館をより身近なものと感じていけるよう、公開できるものは公開くださ
い。

会長) コロナ禍の中、各館工夫して事業を行った様子がわかる。このことに関して質問は
無いか。

委員) 定員数を設定してという事業開催だったと思うが、参加人数を知りたかった。

会長) セルフ貸出機の概要と設置によって、無断持ち出しが増えるということは無かったのか説明ください。

説明員) 柳瀬川図書館では2台設置している。資料検索機のメニューの一つに追加した“セルフ貸出”を押下し、バーコードリーダーで資料のバーコードを読み込む。不明図書については、今年度と昨年度の蔵書点検結果を比較し影響を把握することになる。

説明員) いろは遊学図書館でも2台設置している。図書館から足が遠ざかる高学年の児童の関心の一つとしたいということと、利用者がカウンターでは借りにくい図書を利用できるという視点で導入を決めた。

事務局) 令和5年度から9年度について、現在と同じく宗岡公民館は公益財団法人志木市文化スポーツ振興公社を、宗岡第二公民館は社会福祉法人志木市社会福祉協議会を指定管理者として指定することが令和4年志木市議会12月定例会で決まったので報告する。

(3) 学校図書館と市立図書館の連携について

※配布資料をもとに柳瀬川図書館より説明

委員) 不読率というのは、市立図書館の資料についてなのか。学校図書館の資料についてなのか。

説明員) 所蔵場所は関係なく、学校でも家庭でも図書館でも、とにかく1ヶ月に1冊も本を読まなかった児童生徒の割合を示したものである。

委員) 学校図書館の貸出冊数が直接不読率に関係ないのであれば、記載する必要は薄いと考ええる。

説明員) 不読率の調査と学校図書館の貸出冊数の調査は別の調査となる。データの提示について考慮する。

委員) 志木小学校といろは遊学図書館は学社融合施設であるから、システムなどすでに連携済なのではないか。

説明員) 蔵書管理、システムなどは全く別々に管理している。

会長) この場で、具体的な方向性を提示する必要はあるのか、確認したい。

説明員) 来年度、学校図書館と市立図書館の連携をさらに進めていく予定であることを今回は報告するという意味合いである。現在、生じている学校間の差をなくしていきたいと考えている。新年度、現委員の任期中に再度進行状況について説明し、具体的にご意見をいただきたいと考えている。

委員) 学校では、小中一貫教育の推進を具体的に進めているが、その目的は非認知能力を上げていくことと聞いている。読書は学校方針との結びつきが重要ではないか。

説明員) 小中一貫教育の推進についても連携していく予定である。

委員) 学校の連携は重要なことだが、学校に任せっきりでなく家庭に対しての取り組みも重要ではないか。

会長) 児童へのサービスを特化しているという宗岡第二公民館図書室の取り組みは、いかがか。

説明員) 令和5年度は親子で入りやすい図書室を目指して、赤ちゃん連れの親子が気兼ねなく入れる時間帯を設けていく予定である。また、児童書を親の利用者カードで借りていくケースが多いので、将来の利用者になってもらうということも考慮し、子どもが自分のカードで借りるということを促していきたい。

説明員) いろは遊学図書館では、志木小学校入学前に図書館の利用者カードを必ず作ってもらうこととしている。本日統計等のデータのご指摘いただいたことを考慮し、分析等に生かしていきたい。小中一貫教育の取り組みについては、図書館から積極的に働きかけるとともに、学校の先生へのアプローチについても力を入れていきたい。

委員) “学校図書員”という職名を学校図書館法にある“学校司書”にしてはいかがか。また、学校図書館の機能を充実させるためには、学校図書館に“学校図書員”ができるだけ常駐できる環境を整えたり、授業での活用を視野に教育課程からのアプローチが必要と思う。

(4) その他

説明員) 現在の図書館協議会委員の任期が本年8月31日で満了となる。